

活動名「ふくいユネスコフォーラム 2021」
～人道の港ムゼウムから学ぶ～

1. 日時 令和3年10月31日(日) 10:00～12:00
2. 場所 人道の港 敦賀ムゼウム (敦賀市)
3. 内容 人道の港「敦賀ムゼウム」で館長の講演やコンサート、館内視察を通じて、ユダヤ難民やポーランド孤児、平和などについて理解を深める。
4. 参加人数 48名

5. 活動の様子
(講演会)

- ・杉原千畝氏の命のビザのことは断片的に知っていたが、今回のフォーラムでまだ知らないことが多くあることを知った。
- ・敦賀の人道の港を市外の人たちにもPR出来たと思う。



(コンサート)



- ・「さくら」のアレンジが親しみやすく楽譜が欲しい。
- ・演奏者の意図がよく伝わってきた。
- ・講演を聞いた後で特によかった。
- ・コーラスグループの頑張っている姿に感動し、涙が出た。
- ・地元音楽家の人道の港・歴史に対する思いが楽曲、歌声から伝わり感動した。

(敦賀高校探求部解説による館内視察)

- ・地元の素晴らしい歴史を自分たちの言葉で熱意を持って伝えることに好感を持てた。
- ・一生懸命学んで調べられていることが伝わった。
- ・ゆっくり時間をとって質問できると良かった。

6. 事業の成果

敦賀が何故「人道の港」と言われているのか再確認するとともに平和の尊さと敦賀市民の受け入れに対して、今も多くの難民が世界各地で発生していることに教えられるものがあった。
また、敦賀の人たちの「敦賀ムゼウム」に対する思いを知ることができた。